



平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3726 URL <http://www.4cs-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 山戸 明仁 (TEL) 092-720-5460
 定時株主総会開催予定日 平成29年12月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 平成29年12月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	2,668	△38.1	111	△59.9	161	△38.0	200	63.9
28年9月期	4,311	81.7	277	216.8	260	233.9	122	287.1
(注) 包括利益	29年9月期		200百万円(63.9%)		28年9月期		122百万円(287.1%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年9月期	29.21	—	14.6	5.0	4.2
28年9月期	17.82	—	10.1	8.5	6.4

(参考) 持分法投資損益 29年9月期 ー百万円 28年9月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	3,268	1,478	45.1	214.75
28年9月期	3,211	1,282	39.7	185.56

(参考) 自己資本 29年9月期 1,474百万円 28年9月期 1,274百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年9月期	240	44	196	1,586
28年9月期	244	3	133	1,103

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、添付資料「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 除外 1社（社名）クレイトン・ダイナミクス株式会社
 （注）詳細は、添付資料P.11「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）」をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期	6,973,470株	28年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	29年9月期	105,870株	28年9月期	105,170株
③ 期中平均株式数	29年9月期	6,868,046株	28年9月期	6,868,560株

(参考) 個別業績の概要

平成29年9月期の個別業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	368	125.6	138	—	143	—	143	—
28年9月期	163	53.0	△23	—	△14	—	△12	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年9月期	20.97		—					
28年9月期	△1.80		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
29年9月期	2,256		1,266		56.0	183.88		
28年9月期	1,809		1,126		61.8	162.93		

(参考) 自己資本 29年9月期 1,262百万円 28年9月期 1,119百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、政府や日銀による各種政策を背景に、企業業績や雇用情勢の改善傾向が継続しており、景気は穏やかな回復を続けております。一方で、米国における政権交代の影響や欧州の政治不安、海外経済の不確実性の高まり等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループが属する化粧品業界は、近時、異業種からの新規参入、商品の低価格化、販売チャネルの多様化等による競争の激化が続いており、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中長期的な更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

第3四半期連結会計期間におきましては、カラーコンタクトレンズ事業を展開しておりました連結子会社であるクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡し、第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、連結の範囲から除外しております。そのため、カラーコンタクトレンズ事業の業績は第2四半期連結累計期間までを連結の範囲に含めております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,668,408千円（前年同期比38.1%減）、営業利益111,183千円（同59.9%減）、経常利益161,356千円（同38.0%減）となりました。また、子会社株式の譲渡に関する特別利益が発生したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は200,597千円（同63.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(コミュニケーション・セールス事業)

コミュニケーション・セールス事業におきましては、新たな顧客層の取り込みとリピート率の向上を図るための施策に取り組むほか、Web・スマホ対応にも注力し、広告宣伝費を投下してまいりました。本年9月には、従来のブランドに加え、価格帯やターゲットを変えたセカンドブランドを立ち上げ、販売を開始しております。

今後につきましても、季節に応じた新商品などを導入していく予定であり、積極的なマーケティング活動を行ってまいります。

しかしながら、当連結会計年度におきましては、新規顧客の獲得に苦戦しており、当初予定しておりました売上高を下回る結果となりました。これにより、売上高1,607,959千円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益11,098千円（同91.5%減）となりました。

(化粧品卸事業)

化粧品卸事業におきましては、古くなった角質を除去するための商品『ナチュラルアクアジェル Cure』及び岩塩を原料とする入浴剤『Cure バスタイム』の販売を行っており、市場でも高い評価を受けております。

今後は、社内にWeb販売部門を立ち上げ、従来あまり力を入れてこなかったWeb販売についても積極的に行ってまいります。

当連結会計年度におきましては、従来からの商品に加え、新商品を開発するためのマーケティング活動を積極的に行ってまいりましたが、当初予定しておりました、当連結会計年度中の販売を開始できなかったことにより、売上高636,424千円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益180,779千円（同29.1%減）となりました。

(カラーコンタクトレンズ事業)

カラーコンタクトレンズ事業におきましては、第3四半期連結会計期間に、この事業を展開するクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡し、第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日としたことで、第2四半期連結累計期間までの業績を連結の範囲に含めております。これにより売上高424,220千円（前年同期比77.8%減）、セグメント損失70,073千円（前年同期は87,889千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における資産の残高は3,268,285千円（前連結会計年度末3,211,418千円）、その内訳は流動資産2,586,358千円、固定資産681,926千円となり、前連結会計年度末に比べ56,866千円増加いたしました。これは主に、クレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことによるほか、現金及び預金の増加485,256千円、短期貸付金の増加200,000千円、売掛金の減少556,203千円、前渡金の減少75,563千円、貸倒引当金の減少83,545千円、のれんの減少89,696千円等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債の残高は1,790,208千円（前連結会計年度末1,929,228千円）、その内訳は流動負債832,132千円、固定負債958,076千円となり、前連結会計年度末に比べ139,019千円減少いたしました。これは主に、クレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことによるほか、買掛金の減少42,603千円、未払法人税等の減少96,190千円等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における純資産の残高は1,478,076千円（前連結会計年度末1,282,190千円）となり、195,885千円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益200,597千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,586,360千円となり、前連結会計年度末と比べて483,224千円増加しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、240,434千円（前年同期は244,814千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益277,510千円、減価償却費55,118千円、のれん償却額52,159千円、売上債権の減少332,678千円、仕入債務の増加138,597千円、たな卸資産の増加135,552千円、法人税等の支払額174,302千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、44,444千円（前年同期は3,227千円の獲得）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出34,583千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却に伴う支出184,212千円、長期貸付金の回収による収入282,044千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、196,689千円（前年同期は133,222千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額190,000千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、更なる成長を目指し、積極的にM&Aを行い事業領域を拡大しております。

今後も事業基盤の安定と持続的な成長を図るため、効率的な組織体制を築き、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を確立するとともに、グループ会社の管理体制を強化してまいります。また、引き続き更なる成長の手段としてM&Aを積極的に行い中長期的な視点にたつて、企業価値の向上に邁進してまいります。

以上のように、当社グループは企業価値のさらなる向上を目指した新たな中期経営計画を策定しており、詳細が確定した時点で公表する予定です。なお、各セグメント別の見通しにつきましても、中期経営計画でお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は、現在日本国内に限定されていること、連結財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際財務報告基準（IFRS）の適用動向等を考慮し、IFRSの適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,353,384	1,838,641
売掛金	699,835	143,632
商品及び製品	262,677	264,847
原材料及び貯蔵品	4,292	22,409
短期貸付金	—	200,000
繰延税金資産	56,549	60,396
その他	143,554	56,444
貸倒引当金	△83,557	△12
流動資産合計	2,436,736	2,586,358
固定資産		
有形固定資産		
建物	27,448	28,467
減価償却累計額	△5,374	△6,917
建物（純額）	22,074	21,550
リース資産	9,564	9,664
減価償却累計額	△6,341	△2,407
リース資産（純額）	3,222	7,256
その他	99,873	101,563
減価償却累計額	△98,202	△97,021
その他（純額）	1,670	4,542
有形固定資産合計	26,967	33,349
無形固定資産		
のれん	254,428	164,732
顧客関連資産	403,115	368,807
その他	53,730	72,383
無形固定資産合計	711,274	605,922
投資その他の資産		
繰延税金資産	814	312
その他	35,624	42,341
投資その他の資産合計	36,439	42,653
固定資産合計	774,682	681,926
資産合計	3,211,418	3,268,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,247	41,643
短期借入金	460,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	135,688	154,072
リース債務	2,883	2,216
未払法人税等	99,565	3,375
賞与引当金	15,561	14,653
返品調整引当金	994	825
株主優待引当金	20,834	29,522
その他	185,011	135,822
流動負債合計	1,004,785	832,132
固定負債		
長期借入金	878,673	870,810
リース債務	2,294	5,987
繰延税金負債	31,816	64,124
資産除去債務	11,657	17,153
固定負債合計	924,442	958,076
負債合計	1,929,228	1,790,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,112	348,117
利益剰余金	73,257	273,855
自己株式	△29,663	△29,938
株主資本合計	1,274,495	1,474,823
新株予約権	7,695	3,253
純資産合計	1,282,190	1,478,076
負債純資産合計	3,211,418	3,268,285

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	4,311,816	2,668,408
売上原価	2,242,454	867,069
売上総利益	2,069,362	1,801,338
返品調整引当金戻入額	1,583	994
返品調整引当金繰入額	994	825
差引売上総利益	2,069,951	1,801,507
販売費及び一般管理費	1,792,874	1,690,323
営業利益	277,076	111,183
営業外収益		
受取利息	900	6,588
貸倒引当金戻入額	-	64,249
受取賠償金	2,643	-
受取手数料	2,125	-
その他	1,355	4,515
営業外収益合計	7,024	75,352
営業外費用		
支払利息	18,402	18,686
為替差損	3,113	-
事務所移転費用	-	5,877
その他	2,375	615
営業外費用合計	23,891	25,179
経常利益	260,210	161,356
特別利益		
新株予約権戻入益	2,916	7,695
子会社株式売却益	-	108,459
特別利益合計	2,916	116,154
税金等調整前当期純利益	263,126	277,510
法人税、住民税及び事業税	107,650	47,949
法人税等調整額	33,076	28,963
法人税等合計	140,727	76,913
当期純利益	122,398	200,597
親会社株主に帰属する当期純利益	122,398	200,597

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
当期純利益	122,398	200,597
包括利益	122,398	200,597
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	122,398	200,597
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	882,788	348,109	△49,141	△29,414	1,152,342	10,611	1,162,953
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益			122,398		122,398		122,398
自己株式の取得				△268	△268		△268
自己株式の処分		2		19	22		22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△2,916	△2,916
当期変動額合計	—	2	122,398	△248	122,153	△2,916	119,237
当期末残高	882,788	348,112	73,257	△29,663	1,274,495	7,695	1,282,190

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	882,788	348,112	73,257	△29,663	1,274,495	7,695	1,282,190
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期純利益			200,597		200,597		200,597
自己株式の取得				△294	△294		△294
自己株式の処分		4		19	24		24
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△4,441	△4,441
当期変動額合計	—	4	200,597	△274	200,327	△4,441	195,885
当期末残高	882,788	348,117	273,855	△29,938	1,474,823	3,253	1,478,076

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	263,126	277,510
減価償却費	55,193	55,118
のれん償却額	57,802	52,159
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	83,513	△64,245
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,359	△307
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△589	△168
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	9,136	8,688
受取利息及び受取配当金	△900	△6,588
支払利息	18,402	18,686
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△108,459
新株予約権戻入益	△2,916	△7,695
売上債権の増減額 (△は増加)	△110,666	332,678
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31,394	△135,552
仕入債務の増減額 (△は減少)	△81,556	138,597
その他	24,135	△135,331
小計	287,645	425,091
利息及び配当金の受取額	894	7,278
利息の支払額	△18,713	△17,633
法人税等の支払額	△25,012	△174,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,814	240,434
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,767	△8,378
無形固定資産の取得による支出	△4,177	△34,583
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△184,212
敷金の回収による収入	17,470	—
敷金の差入による支出	—	△8,394
長期貸付金の回収による収入	—	282,044
その他	△298	△2,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,227	44,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	220,000	190,000
長期借入れによる収入	50,000	230,000
長期借入金の返済による支出	△135,093	△219,479
リース債務の返済による支出	△1,438	△4,042
その他	△245	210
財務活動によるキャッシュ・フロー	133,222	196,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,113	1,657
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	378,151	483,224
現金及び現金同等物の期首残高	724,983	1,103,135
現金及び現金同等物の期末残高	1,103,135	1,586,360

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

(連結の範囲に関する事項)

前連結会計年度において連結子会社であったクレイトン・ダイナミクス株式会社は、第3四半期連結会計期間において、全株式を譲渡したことにより、第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、連結の範囲から除外しております。これにより、カラーコンタクトレンズ事業については、第2四半期連結累計期間までの業績を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「コミュニケーション・セールス事業」、「化粧品卸事業」及び「カラーコンタクトレンズ事業」の3つの報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービス

「コミュニケーション・セールス事業」では、化粧品及び健康食品の通信販売を主な事業としております。

「化粧品卸事業」では、化粧品及び入浴剤の卸売りを行っております。

「カラーコンタクトレンズ事業」では、カラーコンタクトレンズの製造及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額
	コミュニケーション・セールス事業	化粧品卸事業	カラーコンタクトレンズ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,721,529	677,643	1,912,643	4,311,816	—	4,311,816
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	606	—	606	△606	—
計	1,721,529	678,250	1,912,643	4,312,423	△606	4,311,816
セグメント利益	129,987	254,995	△87,889	297,092	△20,015	277,076
セグメント資産	1,024,423	1,054,234	789,435	2,868,093	343,324	3,211,418
その他の項目						
減価償却費	10,071	41,621	1,208	52,902	2,291	55,193
のれん償却額	37,257	9,258	11,286	57,802	—	57,802
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,321	—	10,061	17,382	—	17,382

当連結会計年度（自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額
	コミュニケーション・セー ルス事業	化粧品 卸事業	カラーコンタク トレンズ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,607,959	636,228	424,220	2,668,408	—	2,668,408
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	195	—	195	△195	—
計	1,607,959	636,424	424,220	2,668,604	△195	2,668,408
セグメント利益	11,098	180,779	△70,073	121,805	△10,621	111,183
セグメント資産	1,040,272	923,862	—	1,964,134	1,304,150	3,268,285
その他の項目						
減価償却費	10,485	41,766	807	53,059	2,059	55,118
のれん償却額	37,257	9,258	5,643	52,159	—	52,159
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	44,473	510	—	44,984	8,541	53,525

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,312,423	2,668,604
セグメント間取引消去	△606	△195
連結財務諸表の売上高	4,311,816	2,668,408

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	297,092	121,805
全社収益(注)1	163,400	368,600
全社費用(注)2	△186,841	△229,983
その他の調整額	3,426	△149,238
連結財務諸表の営業利益	277,076	111,183

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,868,093	1,964,134
全社資産(注)	1,809,959	2,256,370
その他の調整額	△1,466,634	△952,220
連結財務諸表の資産合計	3,211,418	3,268,285

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない持株会社の資産であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり純資産額	185.56円	214.75円
1株当たり当期純利益金額	17.82円	29.21円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	122,398	200,597
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	122,398	200,597
期中平均株式数(千株)	6,868	6,868
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数28,500株)	新株予約権2種類(新株予約権の数92,000株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。